

情報提供

ケアマネジメントの質の向上に関する情報

現在の介護支援専門員の課題

- ①適切なアセスメント（課題把握）が必ずしも十分ではない。
- ②サービス担当者会議における多職種協働が十分に機能していない。
- ③ケアマネジメントにおけるモニタリング、評価が必ずしも十分ではない。

[介護支援専門員の資質向上と今後のあり方に関する検討会（平成 25 年 1 月） 中間報告から]

介護支援専門員の課題に対応するため、厚生労働省が下記を情報提供しました。

介護保険最新情報 Vol. 379 （平成 26 年 6 月 17 日厚生労働省老健局振興課）

「課題整理総括表・評価表の活用の手引き」の活用について

目的と様式

- 1 利用者の状態等を把握し、情報の整理・分析等を通じて課題を導き出した過程について、多職種協働の場面等で説明する際に適切な情報共有に資すること



「課題整理総括表」

（『1 「課題整理総括表」の活用について』により確認をしてください。）

次ページ 1 へ

- 2 ケアプランに位置付けたサービスについて、短期目標に対する達成度合いを評価することで、より効果的なケアプランの見直しに資すること



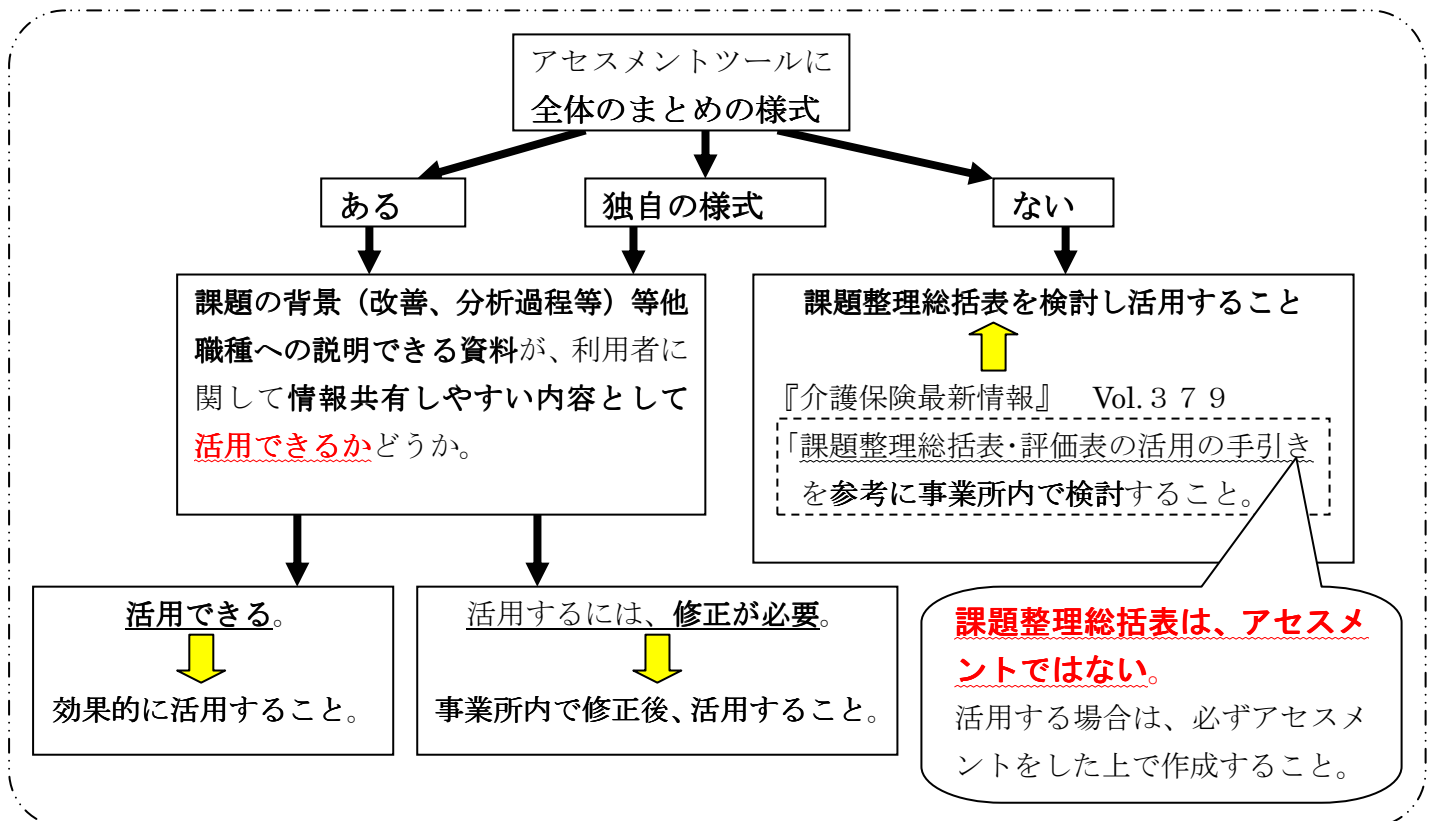
「評価表」

（『2 「評価表」の活用について』により確認をしてください。）

次ページ 2 へ

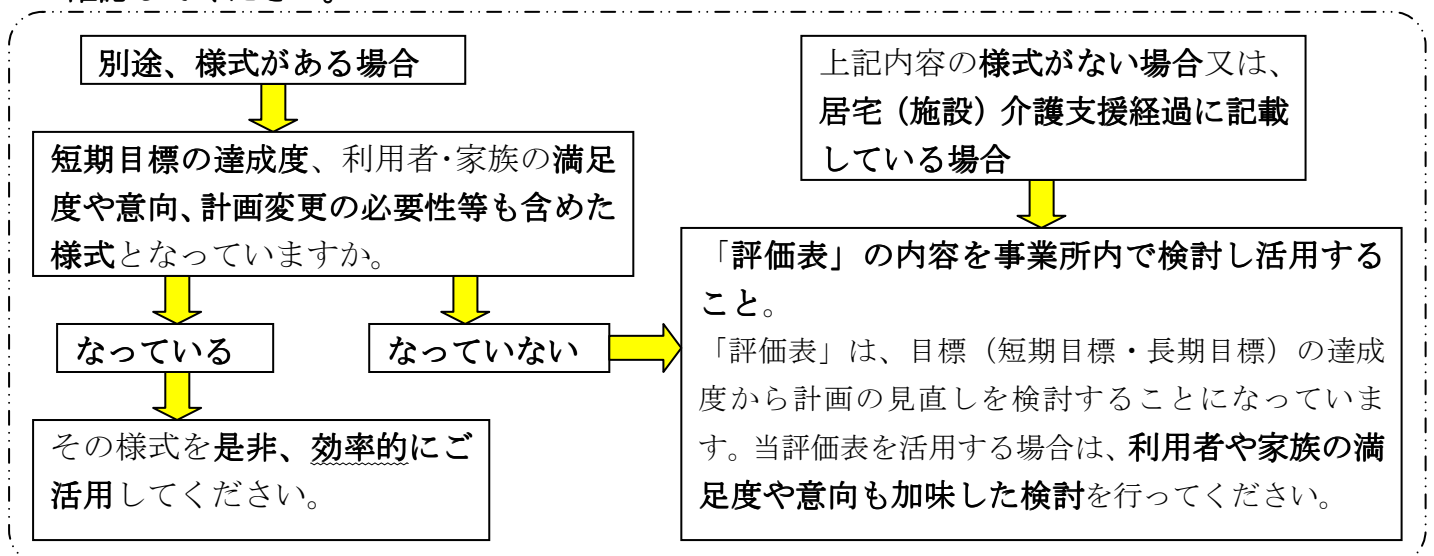
1 「課題整理総括表」の活用について

アセスメントツールによって、課題整理総括表と同様の役割を果たしている場合があるので、次のフロー図で確認してください。



2 「評価表」の活用について

アセスメントツールやソフトウェアによって、評価表と同様の役割を果たしている様式がある場合又は、各事業所で同様の様式を作成している場合があるので、次により、確認してください。



☆参考 記載要領 第5表「居宅介護支援経過」、第6表「施設介護支援経過」

モニタリング等で把握した、利用者や家族の意向・満足度等、目標の達成度、事業者との調整内容、居宅サービス計画の変更の必要性等を記載することになっている。